



〈学校教育目標〉 明るく さわやかな子の育成

しばはら

令和8年1月30日 No.479

さいたま市立芝原小学校

さいたま市緑区芝原2丁目5番地

TEL 873-4133 FAX 810-1123

Web <http://shibahara-e.saitama-city.ed.jp>

春に向けて

校長 砂庭 幸子

今年の節分は、2月3日です。節分は、季節の変わり目に邪気を払い、無病息災を願う日本の伝統行事で、豆まきや恵方巻、柊イワシなどの風習が知られています。私も子どもの頃、「鬼は外、福は内」と豆まきをし、その後に年齢の数だけ豆を食べたことを思い出します。節分の豆を年齢の数（または年齢の数+1個）だけ食べることで、健康で幸せな1年が過ごせると言われています。

さて、先日「彩の国21世紀郷土かるた三室地区交流会」が開催されました。「彩の国21世紀かるた」とは、埼玉県にゆかりのある人物や名所などを取りあげたかるたで、埼玉の風土と文化を理解し、郷土を愛する子ども達を育成するために作られたものです。私が子どもの頃には、その前身の「さいたま郷土かるた」が作成され、私も学校で遊んだ思い出があります。その後、さいたまスタジアム2002やさいたま新都心が完成したことを受け、2002年に改訂されたものがこの「彩の国21世紀かるた」です。交流会は一对一の試合形式で行われ、静まり返った会場で読み手の声をじっくり聴き、真剣に絵札を取っている子ども達の姿が見られました。参加した子ども達は、緊張の中にも集中して取り組む貴重な経験ができたのではないのでしょうか。

芝原小の子ども達には、豆まきやかるとなど折に触れてさまざまな日本の行事や文化に親しむことで、そこにある願いや伝統を感じ取る経験をしてほしいと思います。

そして、この頃の校庭や松芝公園の木々をよく見ると、枝先にはたくさんの木の芽が付いています。変わらないように見える樹木も、しっかりと張った根から水分や養分を吸い上げ、幹から枝先に送り、花を咲かせたり、葉を芽吹かせたりする準備を着々と進めています。



【校庭の桜のつぼみ】

子ども達にとっても、この2月はちょうどそのような準備の時期です。3学期の始業式で、「3学期は、次の学年の0学期である」という話をしました。例えば、1年生は「2年生0学期」、6年生は「中学1年生0学期」となります。1年生から5年生は進級する春に向けて、6年生は卒業・進学する春に向けて、それぞれの学年の仕上げをする時期です。勉強や運動はもちろん、友達との関わり方なども振り返り、頑張ってきたことやできるようになったことを確かめ、そして、得意なことはさらに伸ばし、苦手なことは少しでも克服できるように、最後まで毎日の学習や生活に真剣に取り組んで、しっかりと力をつけていってほしいと思います。

2月は短く、あっという間に月末を迎えると思います。1年の総まとめの時期を元気で充実した時間にするためにも、学校では手洗いやうがい、換気など感染症対策をしながら教育活動を進めてまいります。保護者や地域の皆様におかれましては御理解、御協力をよろしくお願いいたします。